



公立大学法人富山県立大学

News Release

地域協働支援室

担当：神村（地域協働コーディネーター）

電話：0766-56-7500（内線 1632）

kyodo@pu-toyama.ac.jp

令和 8 年 10 月 5 日

大学生によるスゲ栽培の植付け作業体験の実施

－伝統工芸・越中菅笠の原料生産の現場にて－

（地域協働授業）

本学では、学生の社会参画力や課題解決力の育成を図るため、地域の人々との交流・対話・協働などにより地域の課題解決を目指す講義や演習を取り入れた「地域協働授業（※）」を実施しています。このたび、その一環として、少人数教育のゼミ形式で高岡市福岡地区の菅笠生産をテーマにした地域協働授業を実施します。

1 概 要

国の伝統的工芸品である「越中福岡の菅笠」が生産される高岡市福岡町は、日本で唯一、スゲの栽培から菅笠の製作、販売までを一貫して生産する技術体系を保持している地域です。すべて手作業で行われる菅笠の製作技術は国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

一方で、菅笠の原料となるスゲの栽培面積・栽培農家数は減少を続けています。スゲ栽培の現場を知り、伝統産業への理解を深めることを目的に、地域協働授業を実施します。今回はスゲの植付け作業を体験します。

2 日 時

令和 8 年 10 月 8 日（木）

13 時 30 分～15 時 30 分（予定）〔少雨決行・荒天中止〕

3 場 所

スゲ栽培体験圃場（高岡市福岡町土屋 501 番地）

4 参加者

本学 工学部・情報工学部 1 年生 14 名（教養ゼミⅡ受講生）

担当：鈴木浩司（教養教育センター 准教授）

地域関係者（予定）

- ・菅笠関係団体：菅笠製作技術保存会、菅笠振興会
- ・JA いなば福岡支店
- ・高岡市農業水産課、富山県高岡農林振興センター

など

※本学の「地域協働授業」の概要やこれまでの実績等については、
地域協働支援室の HP をご覧ください。 <https://tpu-cbl.net>

